

# SEOについて

SEOとは何なのか、その概要について簡単に説明いたします。

また、今回の業務でお客様のウェブサイトを作成するにあたり、どのような方針・施策をもってSEOとするのか、解説いたします。

そして、SEOの観点において、お客様は今後どのようにサイトを運営していくべきか、そのアドバイスもさせていただきます。

SEOとは

Google

SEO



すべて

ニュース

画像

書籍

動画

もっと見る

設定

ツール

約 514,000,000 件 (0.59 秒)

SEO (検索エンジン最適化) とは、検索エンジン (Google や Yahoo!)

検索エンジン (Google や Yahoo!) に登録されているウェブサイトの

少しでも上へ!

(アクセス数が増加します!)

検索エンジン (Google や Yahoo!) に登録されているウェブサイトの

検索エンジン (Google や Yahoo!) に登録されているウェブサイトの

SEO対策とは【2017年版 最新SEO】 | デジ研

<https://digital-marketing.jp/>

Googleは世界の検索エンジンとして、多くの企業に収入を得ています。昨今、Googleが検索結果に表示されるウェブサイトの数は、これまで通用してきたSEOが全く通じないどころかマイナスに作用するケースすら増え...

あなたのサイト

「検索エンジン最適化」という意味です。

検索エンジン (GoogleやYahoo!) で、あるキーワードで検索された際に、自分のサイトが**検索結果でより上位に表示されるように施す技術**のことです。

検索結果の上位に表示されることで、サイトへのアクセスは増え、顧客獲得につなげることもできるでしょう。

# どのようなサイトが上位表示されるのか

一言で言えば、**ユーザーにとって価値のあるサイト**です。

特に近年では、**検索エンジンの精度がますます向上しつつあります。**

「ユーザーの為になるサイトを検索結果の上位に表示する」というのが検索エンジンの本来の目的であり、その精度が向上している以上、**コンテンツの中身に乏しいサイトを上位表示させるのは極めて困難である**といえます。

もう少し具体的に言えば、下記のようなサイトです。

業界最大手企業のサイト

業界歴が長い企業のサイト（古いサイト）

ユーザーのためになる情報がたくさんあるサイト

SEOの裏技テクを施したサイト

←目指すべきはこの考え方！（後述）

←これはもう危険です。  
近年では、むしろ検索順位下落の傾向があります。  
最悪の場合、検索結果からの除外も！

本業務（サイト制作）において、  
どのようなSEO施策を施すのか

## SEO施策① ～当たり前前のことをやる～

プロとして持っていて当然のSEO基礎知識をすべて取り入れたサイト作りをします。  
これは当たり前前のことであり、なおかつ、かなり大事なことです。

具体的に下記のような施策を施しています。

- ・ titleタグの設定。キーワード使用。
- ・ metaタグの設定。キーワード使用。
- ・ 本文でのキーワード使用（頻出度チェック）。
- ・ H1タグ内でのキーワード使用。
- ・ 外部へのリンクを最小化（なるべく出さない）。
- ・ xmlサイトマップ送信等の設定。
- ・ 間違いのない適切なソースコードで構築する。
- ・ 検索エンジンへの通知や登録。

※プロである制作者がやることですので、ちんぷんかんぷんでも結構です。  
すべてお任せください。

当たり前前のことなのですが、実はこれができていないサイトも山ほどあります。  
素人さんや格安業者さんが制作したサイトが相手だと、これだけで評価で上回れるケースも多いです。  
この施策だけで、ターゲットキーワードで1位表示を獲得できることもあり得ます。

## SEO施策② ～サイト構成に問題がある場合は、見直し提案～

ウェブやSEOに関する専門知識レベルの話ではなく、単純にウェブサイトの構成に問題がある場合もあります。もしそうであれば、いくつか積極的に提案をさせていただきます。

下記のような提案をする場合があります。

- ・ ページ追加のご提案。
- ・ 不要ページ削除（または検索エンジンに見つからないようにする）のご提案。
- ・ ページ構成見直し。URLに親子階層をつける。ページの分離・統一。
- ・ 本文キーワード頻出度チェックによる、文章の再執筆のご提案。
- ・ 悪質なSEO裏技がなされている場合は、その排除。

この施策は、場合によっては厳しく提案する場合がございます。

**コンテンツの量や質で競合他社サイトに大きく劣ると考えられる場合は、検索結果の上位表示は望みが薄くなります。**

逆に10～20ページ程度のそれなりのページ数があれば、条件をクリアとみなし、あまり提案をさせていただかない場合も多いです（十分しっかり作り込んだサイトであるといえます。）

## SEO施策③ ～サイトにブログ機能つけます！～

本PDF4ページにて、

「ユーザーがためになる情報がたくさんあるサイト」は、検索結果の上位表示が見込めると書きました。

これは、制作者である私の努力というよりも、

**サイト運営者であるお客様の努力によって実を結ぶ、本質的なSEOである**といえます。

下記のような提案をする場合があります。

- ・サイトにブログ機能をつけるので、記事の定期的な更新をお願いします。

お忙しいかと存じますので、なかなか時間が取れないとは思いますが、

ですが、サイトは育てなければ、なかなか強くならないのも事実です。

ブログ執筆については、ぜひご検討いただければと存じます。

詳しくは、次の章で解説いたします。



# お客様の今後のサイト運営 に関するアドバイス

## アドバイス① ～ブログ書きませんか？～

ブログと言っても、ただの日記では意味がありません。

例えば**投資に関するサイト**のSEOであれば、**ジャンルを「投資」に絞った特化型ブログ**を書いていきましょう。専門分野の知識を活かした記事であれば、より良いです。

例えばこのようなタイトルの記事…

- ・これから株式投資を始める方におススメの勉強方法とは？
- ・投資の種類を徹底比較してみた【全10種】
- ・個人投資のメリット・デメリット
- ・投資信託の賢い11の選び方と買ってはいけない8つの投信

タイトルにはインパクトも大事です。

記事は**1記事あたり2000～3000文字程度を目安**として執筆してください。

あくまでも目安であり、量より質が大事ですが、ためになる記事を書くには文字数がかなり必要です。

もしも、記事タイトルは上記の例そのまま、記事本文をしっかり書いたとすると、

「株式投資 勉強」「投資 種類 比較」「投資 メリット」「投資信託 選び方」というキーワードでの検索流入が見込めます。

ひいてはサイト全体の高評価に繋がり、トップページの検索結果にも影響します。

## アドバイス① ～ブログ書きませんか？～

いくつか、**記事を書く上での注意点をまとめておきます。**

記事本文には、必ず見出しタグを使用してください。

H1タグは記事タイトルに使用されていますので、本文中ではH2・H3・H4を使用してください。

参考:[見出しタグの使い方と絶対に知っておくべき注意点](#)

記事を書く際は、必ずターゲットとなるキーワードを想定したうえで、記事を書き始めてください。何となく記事を書くのではなく、検索エンジンのユーザーがどのようなキーワードで検索した時にヒットする記事なのかを想定して書きはじめた方が、圧倒的に効果が高いです。

ターゲットとなるキーワードが決まったら、「[goodkeyword](#)」でそのキーワードを検索してみてください。検索エンジンでよく検索されている複合キーワードのリストが見れます。

(※例えば「投資」で検索すると、「信託」「銀行」「種類」「比較」「ランキング」など…。)

これらのキーワードは、本文中に含めたほうが良いでしょう。

そのあたりも含めて、**もしも10件ほど記事がかけましたら、その時点で一度ご連絡ください。**

よりよい書き方のアドバイスなどさせていただきます。

## アドバイス② ～顧客や知人にリンクを張ってもらう～

顧客や知人・関係者のサイトからリンクをしてもらえないかお願いしてみましょう。

検索エンジンから優良サイトとみなされるには、2つの考え方があります。

ひとつは、サイトそのものが素晴らしいものであること。

もうひとつは、**他のウェブサイトからの評判が良いことです。**

評判が良いとは、すなわち、リンクを送ってもらうことです。

リンクを送ってもらうとは…

・先週、誰かのためのホームページ制作でウェブサイトを制作していただきました。

上記のようなリンクを、例えば知人のブログなどから送ってもらうと、そのサイトは良い評判を得たことにより、検索エンジンからの評価が高まります。

**あまりにも異常な数のリンクを貰うと、かえって検索エンジンから不正を怪しまれ、評価が下がる恐れがあります。常識の範囲内で。**

最後に

ウェブサイトへの集客戦略は、簡単ではありません。  
あっさり簡単に成果は挙げることが、ますます難しくなっているのが現状です。

近年（あるいは今後）のSEOで最も大切なことは、  
検索のアルゴリズムを分析して抜け道を探そうとすることではなく、  
ユーザーに対して良質なコンテンツを提供することだと理解してください。

良いコンテンツ（良い情報）があるページを、しっかりと時間を掛けてこつこつと増やしていき、  
長期的視野で上位表示を目指すというのがベストであると考えます。